

道徳授業プラン集

教材名	かぼちゃのつる	教科書	日本文教出版（教出・学研・東書・光文）	学年	1年
内容項目	節度・節制		健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をすること。		

内容項目のとらえ方
(子どもの実態を踏まえ)

どのクラスにもいる「かぼちゃ」のような子どもたち。共に楽しく生活するために、その子たちの見えないところを見て、本当の願いを知り、理解していくことが「節度・節制」を大事にする集団を育てることである。

授業の展開

子どもたちの活動	指導上の留意点
<p>1. 「かぼちゃのつる」の話を聞き、めあてについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーを確かめる。 ・めあてを把握する。 <p>めあて かぼちゃはほんとうはどうしたいと思って いるんだろう。</p>	○かぼちゃやかぼちゃんがつるを伸ばす写真等を見せた上で教材文を読み聞かせる。
<p>2. かぼちゃの気持ちを考える。</p> <p>○つるをのばしている時</p> <p>例　・どんどんのばすぞ。・きもちいいぞ ・いろいろうるさいな</p> <p>○車にひかれた後</p> <p>例　・いたいなあ・くやしい・どうろにでなければよかったです・みんなのいうことをきけばよかったです</p>	○登場人物の言動を押さえながら、つるをのばしている時の気持ち、車にひかれた時の気持ちをそれぞれ考えさせ、交流させる。
<p>3. この話の「続き」を聞く。</p> <p>この文章は、教科書文に併せた文体で作ったり、あるいは話してあげたりしてください。</p>	続き かぼちゃはまいにち空を見上げてためいきばかりついていました。かぼちゃはひとりぼっちだったのです。
<p>4. 続きを聞いて、かぼちゃんは本当はどうしたいと思っているか考える。</p> <p>意見を発表する。</p> <p>5. みんながなかよくすごすにはどうしたらいいか考える。</p> <p>意見を発表する</p> <p>○感想を書き、学習を振り返る。</p>	<p>○多様な意見が出せるよう、隣の友だちと話した上で交流させる。</p> <p>○なかなか気づかない友だちの気持ちを考えることが大事だという意見に期待したい。</p> <p>○オープンエンドで終わる。</p>

★この授業プランは村上陽子さん（久留米支部・犬塚小）が第68次県教研「しょうがい」児童教育分科会で報告されたレポートを参考にさせてもらいました。